

自然観察会の日が2ヶ月続けて雨になるのはとても珍しいことです。でも大雨になるとの予報は幸いにもはずれてびしょ濡れになるほどではなく、傘は手放せなかったものの少人数でたくさんの生きものを観察しました。

里山の家での持ち込み観察項目：タコゾウムシの標本写真のカード

カエル池のヨシは去年と同じくタテシマノメイガの幼虫によってハシゴ状になっていました。マサキは木全体が白っぽく見えるほど花をつけていました。クワの木ではタマムシが見つかり参加者を驚かせました。



カエル池の観察



マサキ



タマムシ

オタマジャクシ池のショウブの葉には、早くもツマキホソハマキモドキが羽化していました。大坂池の北の広場では、アンズやウメなどバラ科の木の実が熟していて、地面に落ちている実もたくさんありました。中でもプラムが一番多く実をつけていて、食べてみた参加者が「お店で買うのと同じ味」と言っていました。



ツマキホソハマキモドキ



アンズの実



プラムの実

中道沿いに茂っていた背の低い植物は、最初見慣れないと感じましたが、特徴的な緑色の実を見ればホオズキとわかりました。畑の横の石垣を淡い灰色のナメクジが3匹ほど這っていました。いずれも在来種のナメクジとのことで、普段よく見かける茶色味がかったナメクジは、チャコウラナメクジという外来種だそうです。畑から2週間前に田植えの済んだ田んぼに移動して、周辺の生きものを時間をかけて観察しました。



ホオズキ



ナメクジ



田んぼ

最初に水面が大量のウシガエルの卵に覆いつくされているのを見つけてすべて除去しました。ウキクサやアオウキクサに交じってイチョウウキゴケが所々で見られました。裏返すと黒っぽくて短い根が無数に生えていました。イネの葉には食痕が見られ、少し探すとイネミズゾウムシがあちこちにくっついていました。



ウシガエルの卵



イチョウウキゴケ



イネミズゾウムシ



水網を持参した子どもが**ハイイロゲンゴロウの幼虫**を捕らえました。水中にいる黒い巻貝には右巻きのものとは左巻きとがあり、右巻きは**モノアラガイ**とのことでした。水の表面を上手に移動しているクモは**ハリゲコモリグモの仲間**で、撮った写真をよく見るとエサの昆虫をくわえたまま移動していました。



ハイイロゲンゴロウの幼虫



モノアラガイ



ハリゲコモリグモの仲間

田んぼの中でポットに移して単独で育てられているイネ科の植物があり、**コウキヤガラ**とのことでした。**ヒメタイコウチ**が水面下ギリギリのところをスイスイと進む様子をよく見ると、おしりの先の短い呼吸管は水面に出ていました。田んぼの南の枯れ枝の山の中で、**フタオビミドリカミキリ**が見つかりました。



コウキヤガラ



ヒメタイコウチ



フタオビミドリカミキリ

たくさんの**シロツメクサ**が咲いているところでは、小葉が4枚以上のものが集中して生えている場所がありました。帰る途中の中道では、**エニシダ**が実をつけているのを観察しました。よく熟して真っ黒になったさやを開くと小さな種が並んでいました。**トウチクのタケノコ**は皮のふちに長い毛が生えていました。



四つ葉のクローバー



エニシダの実



トウチクのタケノコ

倒木に**地衣類**が生えていました。うす緑色で大きく波打っており、樹皮に貼りつくというより直立する形状でした。この日も**イセノナミマイマイ**は至る所で活動していました。次々と見ていくうちにその色の個体差が大きいことに気づきました。最後に**ヤマウルシ**が明るい緑色の実をつけているのを観察しました。



地衣類



イセノナミマイマイ



ヤマウルシ

平和公園での観察項目(観察順): ナナフシモドキ,ハシボソガラス,タテシマノメイガの幼虫が綴ったヨシ,マサキの花,シロカネグモの仲間,イセノナミマイマイ,アンズ,ショウリョウバッタ,タマムシ,エノキ,クワ,ツマキホソハマキモドキ,プラム,ホオズキ,ウメ,ナメクジ,田んぼ,ウシガエルの卵,イチョウウキゴケ,ウキウサ,アオウキクサ,ハリゲコモリグモの仲間,イネミズソウムシ,ハイイロゲンゴロウの幼虫,モノアラガイ,ヒメタイコウチ,コウキヤガラ,イ,イナゴ,ツトガの仲間,シケシダ,サカマキガイ,フタオビミドリカミキリ,クズノチビタマムシ,四つ葉のクローバー, セイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシ,ヒメカメノコテントウ,ミント,エニシダ,トウチクのタケノコ,地衣類,ヤマウルシ,ウグイスの声